

エコアクション21 環境経営レポート 2024年度版



対象期間 : 令和 6年 4月 1日～令和 7年 3月31日
発行日 : 令和 7年 7月 12日

スローガン

人と地球にやさしい 環境パイオニア



三惠物産株式会社

目次

1. 環境経営方針
2. 事業活動の概要
3. 組織
4. 5ヶ年環境経営目標
5. 環境活動の取組事項
6. 環境目標の実績
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

◆沿革◆

昭和53年	9月	三恵物産(株)を設立
昭和54年	10月	金沢市産業廃棄物収集運搬業許可を取得
昭和55年	8月	石川県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
昭和60年	6月	金沢市一般廃棄物収集運搬業許可を取得
昭和63年	3月	一般区域貨物自動車運送事業の免許取得
平成3年	8月	建設業石川県許可を取得(土木工事業、とび・土工工事許可)
平成16年	9月	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可を取得
平成18年	5月	エコアクション21の認証登録
平成19年	3月	電子マニフェストシステムに加入
平成19年	6月	金沢営業所を開設
平成21年	1月	安全性優良事業所として金沢営業所を認定(Gマーク)
平成25年	7月	産廃廃棄物収集運搬業許可の 優良基準適合確認
	7月	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の 優良基準適合確認
平成28年	8月	産業廃棄物収集運搬業許可の 優良認定
	9月	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の 優良認定
令和3年	6月	本社を金沢営業所へ 移転
令和5年	9月	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の 廃止

環境経営方針

当社は、『人と地球にやさしい環境づくり』をモットーとして、環境への取組みとして二酸化炭素の削減に努め地域環境保全活動に取り組みます。

環境負荷を削減するための行動を全社員が考え一丸となって環境への取組を実施し行動してまいります。

廃棄物の収集運搬を行う上で リサイクルを推進しSDGsに取り組みます。

(具体的取組内容)

1. 環境保全のため全社員一丸と成って、エコアクション21に取り組む
2. 環境事業活動を通じて地域の環境保全に努める
3. 廃棄物のリサイクルを積極的に推進する
4. 重機・車両での二酸化炭素の排出を削減する
5. 車両の洗浄等で使用する水の使用量を削減する
6. コロナ対策をはじめとして体調管理を徹底する
7. 環境法規を遵守し、地域社会と地球環境全体に貢献する
8. この環境方針は社内に常時掲示し教育、訓練を通じて全社員に周知する

令和6年4月10日

三惠物産株式会社

代表取締役社長 **北川 邦雄**

2. 事業活動の概要

エコアクション21の活動は、全組織・全従業員を対象に活動を行う。



1) 事業所名・代表者氏名

三恵物産株式会社

代表取締役社長 北川 邦雄

2) 所在地

本社 石川県金沢市四十万町236番地

白山営業所 石川県白山市曾谷町ト132-2

Te l 076-298-8139 / Fa x 076-298-8869

Mail : sankei-doboku@dolphin.ocn.ne.jp

3) 事業の規模

創 業 昭和49年8月

設 立 昭和53年9月

資 本 金 2,000万円

敷 地 面 積 2,060㎡

(本社：1,440㎡、白山営業所：620㎡)

	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)
年間売上高	140百万円	142百万円	143百万円
社員数 (年度末在籍数)	20名	21名	21名
車両保有数	20台	20台	20台
重機保有数	8台	8台	8台
受託産業廃棄物の収集運搬量	190 t	210 t	243 t
一般廃棄物の収集運搬量	2980 t	4113 t	4053 t



4) 事業活動の内容

1. 土木一式工事の設計・監理・監督・請負・施工
2. 建築工事の設計・監理・請負・施工
3. とび・土工・コンクリート工事、石工事、舗装工事、しゅんせつ工事、水道施設工事、清掃施設工事の設計・監理・監督・請負・施工、各種解体工事
4. 産業廃棄物収集運搬業
5. 一般廃棄物収集運搬業
6. 一般区域貨物自動車運送事業及び自動車運送取扱事業
7. 砂利採取業及び建築諸資材の販売並びに各種建設機械のリース、レンタル

◆◆◆事業計画の概要、事業の範囲◆◆◆

金沢市内全域の一般廃棄物 及び、金沢市を中心とする石川県内の産業廃棄物の収集運搬を既存のお客様の要望にお応えしながら、新規拡大していく



5) 許可の内容

許可内容	管轄	許可番号	許可年月日 許可有効期限	許可の範囲
一般建設業許可	石川県	石川県知事 許可 (般-4) 第10261号	令和4年8月17日 令和9年8月16日	土木工事業 とび・土工工事業
一般区域貨物自動車 運送事業	中部運輸局	中運自貨二 第200号	昭和63年3月14日 有効期限なし	土石類、建設資材及び建設廃材、 汚泥並びに建設機械、運送に限る
産業廃棄物収集運搬業 【優良】	石川県	第01709021116号	令和5年8月1日 令和12年7月31日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラス チック類、紙くず、木くず、繊維 くず、動植物性残さ、ゴムくず、 金属くず、「がらくず、コンクリート くず及び陶磁器くず」、がれき類 積替え、保管を除く
一般廃棄物収集運搬業	金沢市	金沢市一般廃棄物 収集運搬業許可第11号	令和6年4月1日 令和8年3月31日	一般廃棄物（し尿及び浄化槽に係 る汚泥を除く。）の収集運搬 積替え保管については、金沢市四十 万町24番地（保管面積17.9平方 メートル）において家電小売店引取 り義務外廃家電品を積替え保管す る場合に限る

6) 保有車両

1. 運搬車両の状況 (令和7年3月31日時点)

車種	許可範囲	
	産廃	一般
10tダンプ	○	
10t深ダンプ	○	
12t運搬車	○	
4tレッカー付ダンプ	○	
2tレッカー付ダンプ	○	(再)
軽トラ	○	
2tダンプ	○	
2tダンプ	○	○
2t塵芥車(増t)	○	(委)
2t塵芥車(増t)	○	○
2t塵芥車(増t)	○	
2t塵芥車(増t)	○	○
4t塵芥車(増t)	○	○
4t塵芥車(増t)	○	(委)
4t塵芥車(増t)	○	
4t塵芥車(増t)	○	○
4t塵芥車(増t)	○	(委)
4tダンプ	○	○
3tダンプ	○	
4tアームロール車	○	

(計 20台)



保有内容	20台	割合
平成17年基準低排出ガス重量車	1台	5.0%
平成22年排ガス規制適合車	5台	25.0%
平成28年排ガス規制適合車	6台	30.0%
平成30年排ガス規制適合車	1台	5.0%
平成27年燃費基準達成車	5台	25.0%
平成27年度燃費基準5%向上達成車	3台	15.0%
平成27年度燃費基準10%向上達成車	3台	15.0%
平成12年騒音規制車	1台	5.0%
平成13年騒音規制車	8台	40.0%
平成28年騒音規制車	6台	30.0%

2. 重機

	メーカー		排ガス規制	騒音規制	
油圧ショベル	日立	ZX70-3	第1次	低騒音('97)	81633
タイヤショベル	神戸	LK230Z-4			RE-25263
タイヤショベル	小松	WA50-3	第2次	低騒音	25082
タイヤショベル	小松	WA50-6	2006年基準	超低騒音	66320
油圧ショベル	小松	PC120-11	2014年基準	超低騒音	91279
タイヤショベル	小松	WA100-5	第2次	低騒音	75681
油圧ショベル	小松	PC18MR-3	第3次	超低騒音	22643
油圧ショベル	小松	PC35MR-5	第3次	超低騒音	30172

※排ガス規制・・・国土交通省規定 排気ガス対策型建設機械

建設施工において、機械化施工が大気環境に与える負荷の軽減を目的として、排出ガス性能の良い建設機械の普及促進及び排出ガス対策を実施しています。排出ガス基準値を満たした建設機械を指定する制度を平成3年度より行っており、国土交通省直轄工事において指定機械の使用を進めてきました。また平成18年度からはオフロード法によって、公道を走行しない建設機械を対象に排出ガス規制を行っています。

※騒音規制・・・国土交通省規定 低騒音型・低振動型建設機械

建設工事に伴う騒音・振動対策として、騒音・振動が相当程度軽減された建設機械を「低騒音型・低振動型建設機械」として指定を行っています。機械を生活環境を保全すべき地域で行う工事では、指定を受けた機械の使用を推進しています。



7) 環境管理責任者・担当者氏名及び連絡先

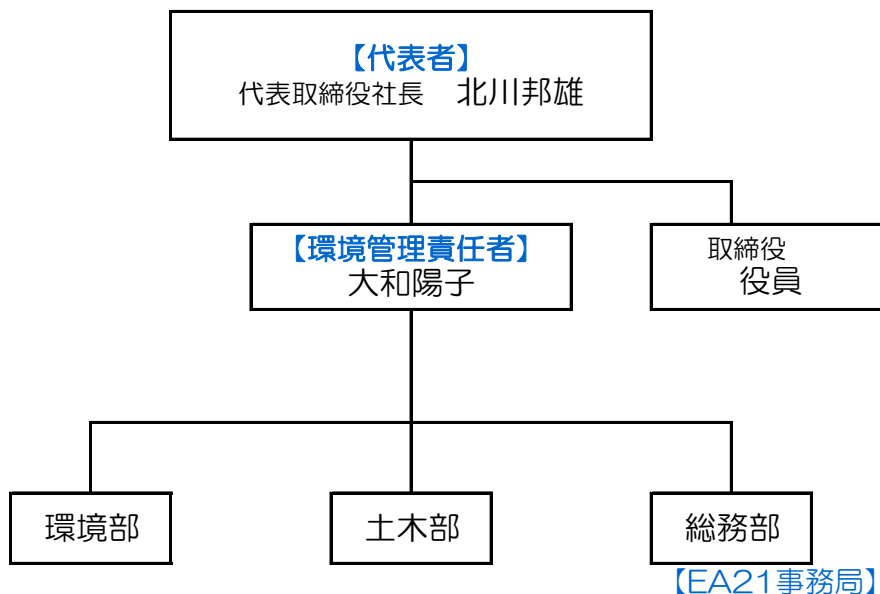
担当責任者：大和 陽子

TEL 076-298-8139

FAX 076-298-8869

3. 組織

活動組織図



環境活動方針（役割分担）

代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針を作成 環境管理責任者を任命する 経営資源を投入する 経営層による評価・見直しを行う
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション21活動の実施・運用 取組状況の進捗管理 環境方針、目標、活動計画の達成と実績の結果を社内会議にて報告する 発生した問題点を経営層へ報告し是正措置・予防措置を社内会議やミーティングにて全社員へ周知
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 エコアクション21のデータ収集及び資料の作成 環境情報収集及び報告
全社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動の目標・計画の理解・実施 改善のための提案 社内外への環境活動への積極的参加 各部毎に担当者を配置し計画の実施状況を部毎に確認し推進する <p>環境部：大和陽子 土木部：北川典子 総務部：北川典子</p>

4 中期環境経営目標

■ 中期（5ヶ年）目標

主な売上である廃棄物の収集運搬に関しては軽油の使用量の80%を占めており、より意識をもって運転してもらいたい。また、令和7年度4月より仕事内容の変更のため 令和7年度の目標の見直しを行い 来年度以降は令和7年を基準年として目標値の再設定を行いたい

- ① 二酸化炭素排出量は基準年より毎年1%ずつ削減する
- ⑥ 売上高原価単位（二酸化炭素排出量÷売上）での1%削減
- ② 廃棄物排出量は工事の内容により大きく影響されることもあり、目標設定はしません
ただし、各現場毎に環境負荷軽減の提案をし推進をはかる
- ④ 水の使用量は基準年より毎年1%削減する
- ⑦ 外部からの苦情の件数を0件を目標とする

	単位	基準年	目標	中期目標				
		令和3年度 2021年		令和5年度 2023年	令和6年度 2024年	令和7年度 2025年	令和7年度 修正目標	令和8年度 2026年
①二酸化炭素排出量	kg-CO2	161,448	▲1%	159,834	158,219	156,605	156,605	令和7年度 の実績を 基に見直 し予定
電気	kwh	27,809		27,531	27,253	26,975	33,600	
灯油	ℓ	2,057		2,036	2,016	1,995	2,000	
ガソリン	ℓ	4,262		4,219	4,177	4,134	4,092	
軽油	ℓ	51,089		50,578	50,067	49,556	52,601	
⑥売上高原価単位	kg-CO2/円	1,355	▲1%	1,341	1,328	1,314	1,301	
②廃棄物排出量	t	37.5	-	-	-	-	-	
現場からの排出	t	1.9		-	-	-	-	
事務所からの排出	t	11.0		-	-	-	-	
③リサイクル率	%	16.5	維持	50	50	50	50	
④排水量	m ³	787	▲1%	779	771	764	831	
⑦苦情・事故件数の低減		5件		5件	4件	3件		

※令和3年度の実績を基準とし令和5年度より中期計画にて目標設定を作成しています。

なお、目標は毎年見直しを実施し必要に応じて変更すること

- R7年度から毎日動く車両が1台分増える為目標の修正をしました
車両1台分の軽油の使用量とその都度洗車をするため排水の使用量の増加が見込まれ
仕事の増加に伴い従業員を増やしており、熱中症対策のため休憩室に新たに空調を設置、
契約電圧の変更もしているため大幅な電気料金の増加が予測されます
- R8年度からはR7年度を基準とし改めて中期目標を設定いたします

※廃棄物排出量は請負工事の量と内容により変動するため、請負工事（自社）分と

事務所からの排出分で区別し実績を集計する。

請負工事排出（現場からの排出）に関してはリサイクル率を重視し、排出内容の50%のリサイクルに努める

※購入電力の二酸化炭素排出係数は0.526kg-CO₂/kwh（北陸電力の令和1年度実排出係数）を使用しました。R7年度に目標見直しを行うためその際に係数の見直しも行います。

5 環境活動の取組事項

◆ 具体的な環境目標（環境経営計画）





【二酸化炭素排出量の削減】

担当：環境部、土木部

エコドライブ	  	<p>不必要なアイドリングの禁止</p> <p>急発進・急加速の禁止</p> <p>車両エアコンの適切な使用</p> <p>タイヤの空気圧のチェック</p>
車両の効率的運行	 	<p>運行効率を考えたの配車</p> <p>低排気車両への入替</p>
節電	 	<p>不要な照明の消灯</p> <p>電気器具の電源OFFによる待機電力の削減</p>
現場での 負荷軽減	  	<p>積込のスケジュール調整による効率化</p>


【廃棄物排出量の削減】

担当：全員

一般廃棄物・ 産業廃棄物の削減	 	<p>ごみの分別</p> <p>資源ゴミのリサイクル</p> <p>コピー用紙の両面使用</p> <p>裏紙の再利用（メモ用紙へ）</p>
受託先への分別依頼	 	<p>受託廃棄物の分別収集でのリサイクル推進</p> <p>資源ごみ（ダンボール・古紙）の分別</p>

【総排水量削減】

担当：環境部、土木部

節水		<p>洗車時の適正水量</p> <p>蛇口ノズルとコックの閉め</p> <p>井戸水計量メーターチェック</p> <p>蛇口の閉め忘れチェックと呼びかけ</p>
----	---	--

【その他】

担当：総務部

グリーン購入	  	<p>再生紙の使用推進</p> <p>事務用品の長く使えるもの簡易包装を選ぶ</p> <p>エコマーク商品の購入</p>
報告・周知	 	<p>EA21の意義浸透のため社内会議実施</p> <p>朝礼や社内掲示で進捗状況の報告</p> <p>社内研修の実施</p>
体調管理の徹底		<p>毎朝の点呼での体調チェック</p> <p>感染症対策（インフル・コロナ）</p> <p>健康診断の全員受診</p>
苦情・事故件数の削減	 	<p>苦情件数の削減</p> <p>事故（車両事故含む）の削減</p> <p>問合せ内容の精査（苦情と改善）</p> <p>社内安全会議の実施</p>

6. 環境目標の実績

6-1 過去の実績推移

	単位	平成31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
二酸化炭素排出量①	kg-CO2	191,935	196,991	161,448	156,904	159,310
電気	kwh	33,431	40,273	27,809	24,908	25,343
灯油	ℓ	2,028	2,534	2,057	2,517	2,050
ガソリン	ℓ	4,317	4,027	4,262	4,728	4,266
軽油④	ℓ	61,783	62,076	51,089	50,321	50,767
売上高原単位	k-CO2/円			1.355	1.120	1.118
売上高	百万円			137	140	143
廃棄物排出量②	t	37.5	38.4	12.9	34.6	36.0
現場からの排出	t	37.2	38.0	1.9	33.2	35.5
事務所からの排出	t	0.3	0.4	11.0	1.4	0.5
リサイクル率③	%	50.5	72.5	16.5	45.1	70.7
排水量	m ³	644	731.2	787.2	807.3	828.7

- ① 二酸化炭素は重機・車両等で使用する軽油が80%超を占める。
 ② 廃棄物は当社が請け負った契約内容により大きく変動する
 ③ リサイクル率は②同様請負物件により変動するのが実態である。

6-2 計画と実績

	単位	令和6年度 (2024年)		実績/計画	評価
		計画	実績		
二酸化炭素排出量	kg-CO2	158,219	165,711	104.7%	△
電気	kwh	27,253	26,792	98.3%	○
灯油	ℓ	2,016	1,987	98.6%	○
ガソリン	ℓ	4,177	4,230	101.3%	△
軽油	ℓ	50,067	53,045	105.9%	△
売上高原単位	kg-CO2/円	1.328	1.155	87.0%	○
廃棄物排出量	t		32.4		
現場からの排出	t		31.9		
事務所からの排出	t		0.4		
リサイクル率	%	50.0	50.6	101.2%	○
排水量	m ³	771	849.4	110.2%	×
苦情件数の削減		3件	16件	533.3%	×

※評価の基準 ○：達成、△：10%未満、×：10%以上未達

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

7-1 環境活動計画の取組結果

【二酸化炭素排出量の削減】 (担当) 環境部・土木部

環境活動計画	評価	概要
全車両のエコドライブの周知	○	毎月燃費の一覧表をそれぞれ掲示 環境部だけのグラフを作成 エコドライブのチェック 日常点検の実施状況の確認 勉強会の実施・研修会への参加
不必要なアイドリングの禁止	○	
急発進・急加速の禁止	○	
車両のエアコンを控えめに使用	○	
タイヤの空気圧のチェック	○	
車両効率を考えての配車	○	
低排気車両への入替の検討	○	令和6年度は車両の入替なし 令和7年度に注文するも納車は令和8年になる追加でもう1台検討
不要な照明の消灯	△	電気の消し忘れ 電源いれっぱなしの時があり
電気機器の電源オフによる待機電力の削減	△	
建設現場での現場別の負荷軽減を推進	-	無駄なアイドリングストップ

【廃棄物排出量削減】 (担当) 土木部・総務部

ごみの分別	○	種類毎の分別している
資源ごみのリサイクル	○	できている
コピー用紙の両面使用	○	できているが無駄なコピーが多い?
裏紙の再利用(メモ用紙へ)	○	できている
建設現場での現場毎の産廃削減	-	産廃排出の建設現場なし
仮設材等で再利用が可能なものは使用	-	再利用可能なものを検討する

【総排水量削減(節水)】 (担当) 環境部

洗車時の適正水量	△	啓発活動をする(声掛け・掲示) ホースノズルの交換をして水漏れ防止 洗車場はコック(元栓)で閉める
井戸水計量メーターチェック	○	
蛇口の閉め忘れチェックと呼びかけ	○	

【グリーン購入】 (担当) 総務部

再生紙の使用推進	○	購入時に意識的に選択し、取組を強化する まとめ買いをしがち必要な分だけを購入する 詰替え用の購入で他メーカーで失敗
事務用品購入時に長く使えるもの、簡易包装を選ぶ	△	
Eコマース商品の購入	△	

【その他】 (担当) 総務部

E A 2 1 導入の意義浸透のため社内会議を実施	○	社内会議は4回開催、毎月の軽油使用量の掲示
苦情件数・車両事故の削減	×	苦情内容の精査が必要 対策を周知だけでなく分析を行う

※評価の基準 ○：徹底ができている
△：取り組んでいるが、まだ徹底できていない
×：取組ができていない

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

7-2 環境活動計画の取組評価

SDGsを知ってから細かいことに意識向けることが多くなったように思います
計画と評価をすることでとてもよい意識付をすることができております

また、明確な目標を持つことで注意点と改善方法の対策を立てて次の目標へ
つなげることができています

令和6年度は二酸化炭素排出量は計画未達となりました

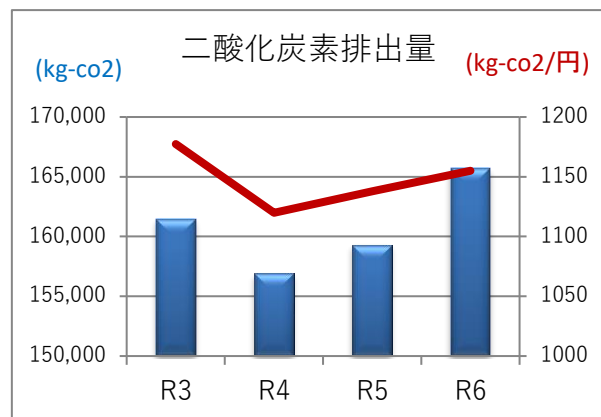
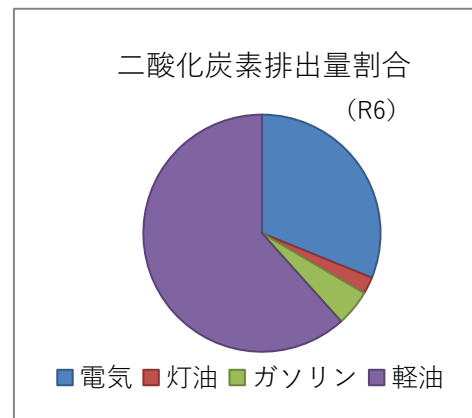
原因としましては当社の負荷割合でもっとも占めている軽油の使用量の増加
のためであり より運転時の排出抑制を推進してまいります

また、排水の使用量が大幅に未達となっており
原因の把握をすることで更なる意識をもって
使用してもらえと思っています

また、電気の使用量については
目標は達成しておりますが
前年対比としては増加しており
節電と環境対策とのバランスを考え
目標の再設定も考慮が必要と思われます

ガソリンの使用に関しては営業車両での
使用であり、行先や距離等での変動
コロナ対策中は顧客への訪問の回数を減らして
いましたが、通常の営業状態に戻っており
訪問や見積もりが増えた為である
車両毎の燃費での推移を注視したい

当社の業務上でのごみ収集車での
収集作業が車両や売り上げの大半を
占めており仕事内容別での比較を
することで原因と注意をすることが
できると思います

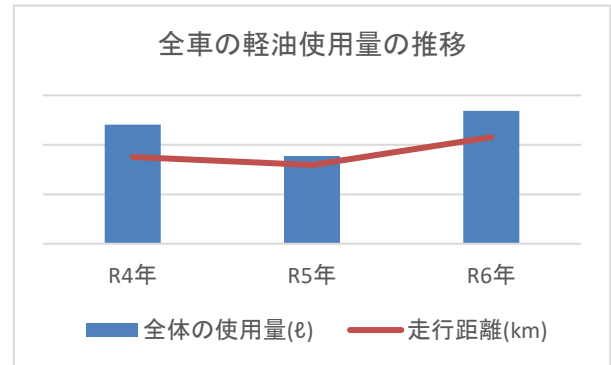


1 二酸化炭素排出量の削減（軽油使用量）

二酸化炭素排出量の約7割を軽油が占めており、軽油の使用量の削減が二酸化炭素排出量の削減に直接効果が出るためもっとも注力していきたい項目ではありません。そのため廃棄物収集のルートの見直しを行い、排出者様にご協力いただき運行の効率化をはかります。また、収集の時間指定の待機（アイドリング）に関しても出発時間の調整等で待機時間を短くするようゆとりのある配車をしていきたいです。

エコドライブについては、社内勉強会を実施いたしました。結果安全運転にもつながるということでエコドライブの推進を続けます。

土木部のダンプの仕事は距離が受ける仕事により変動がはげしいため、土木部は車両毎、環境部は部署毎での集計をすることにより推移を把握して経過をみます。



また、環境部は車両毎に運転手が固定していないため運転者毎の推移を見ることはできないため、全体での推移を安全会議にてグラフで報告をいたします。

エコドライブの実施状況はドライブレコーダーとタコメーターにてランダムで確認し個別に指導を行います。

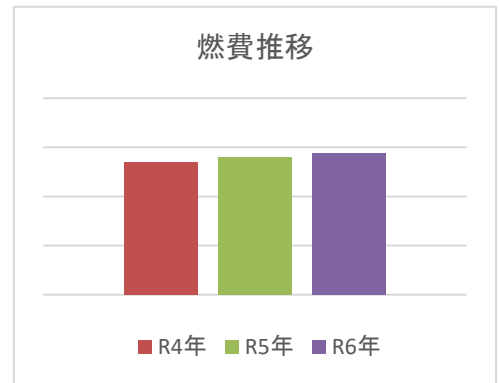
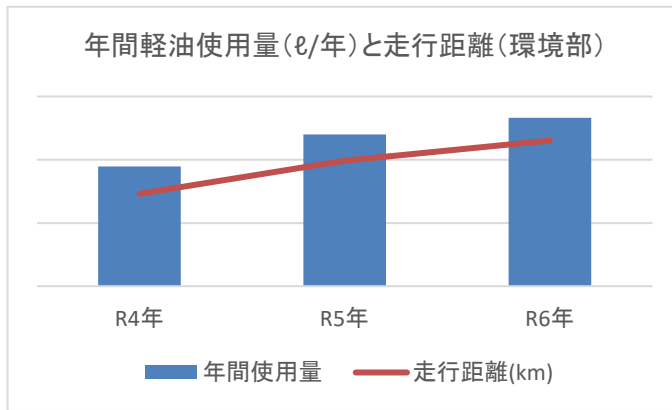
車両毎の集計は随時掲示していつでも確認できるようにいたします。

エコドライブへの3step

- 1st Step** エコドライブは車両整備から
 - 1 **タイヤの空気圧をチェック!**
タイヤの空気圧は燃費や安全と密接な関係がありますので、空気圧を常に適正に保ちましょう。
 - 2 **エアフィルターをチェック!**
フィルターが目詰まりすると燃焼が十分に行われず、燃費悪化・出力低下・黒煙増加につながります。特にターボエンジンは燃費に大きく影響するので、定期的に清掃しましょう。
 - 3 **エンジンオイルをチェック!**
エンジンオイルは劣化すると粘度が高くなり、燃費が悪化するだけでなくエンジンを傷めます。走行距離や使用期間に応じて定期的に交換しましょう。
- 2nd Step** 運転テクニックで燃費アップ
 - 4 **早めのシフトアップ**
加速時のシフトアップは、グリーンゾーン内の回転数で素早く行い、早めに高速ギアへ入れましょう。
 - 5 **おだやかな発進と加速**
急発進・急加速をすると必要以上に多くの燃料を消費することになるので、アクセルを柔らかく踏み、おだやかな発進を心がけましょう。
 - 6 **アイドリングの抑制**
アイドリングは、燃料が消費されるだけでなく騒音や大気汚染の原因となりますので、荷物の積みおろし、待機時、休憩、踏切待ちなど、車両をしばらく停止させる場合は、必ずエンジンを切りましょう。
- 3rd Step** 慣れてきたら状況に応じたエコ運転
 - 7 **一定速度・経済速度での走行**
加減速を繰り返す運転(波状運転)は、燃費を悪化させるので車間距離に余裕をもって一定の速度で走行しましょう。
 - 8 **予知運転・エンジンブレーキの多用**
信号の変化や前方車両の動きに注意し、予見性をもった運転(予知運転)を心がけ、下り坂や減速したり停止する場合は、早めにアクセルから足を離しエンジンブレーキを積極的に活用しましょう。

いしかか エコドライブ

【環境部の軽油使用の推移】

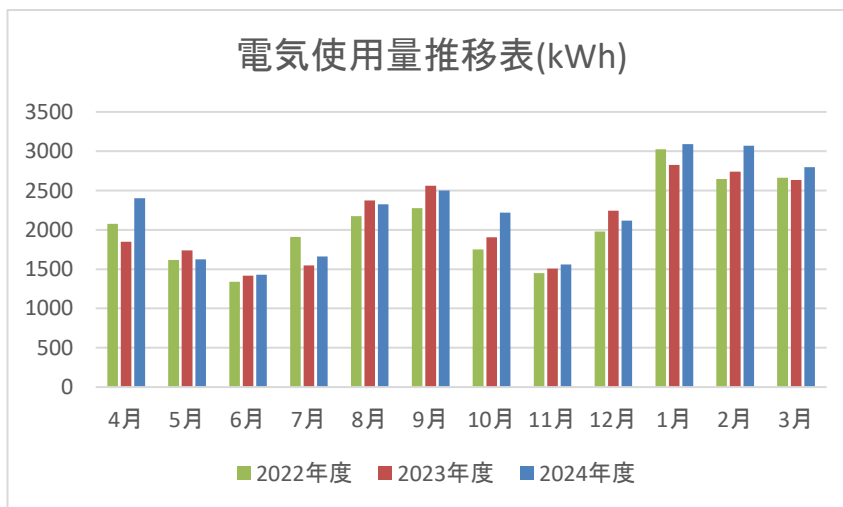


環境部で令和7年度より1台分の仕事が増加するため年間の使用量が増える予定です。また、新車の納車が間に合わず古い車両にての運行の頻度が増えるためより配車等にての対策をたてていきたいです
 貨物運搬でも焼却灰の運搬台数がまだ予定より上ずれしており大型車両の使用量は売上との比較で推移をみていきたい

車両については令和8年に車両の入替を予定しております
 車両整備について、月次点検の実施と日常点検を実施しております
 点検の見直し等についても勉強会の実施等を行います

2 電気使用量の削減

電気の使用量に関しては目標は達成しておりますが
 令和3年に事務所移転・統合に伴う事務所の電気使用量が減った為で
 現在の事務所の使用量は年々増加の様子にある
 環境部の従業員の増加もあり休憩スペースの拡張及び熱中症対策や暖房による電気消費が多いと思われる



令和7年からは更に従業員を増やす予定をしており休憩室に新たにエアコンを増設いたします。休憩時のみの使用ではあるが切り忘れ防止を徹底して少しでも使用量を減らせるよう心掛ける 但し無理はせず熱中症対策等で使用すること

令和7年度の使用量を参考に令和8年度の目標の見直しを行います

3 廃棄物排出量の削減

自社からの排出に関しては主に事務所からの燃やすごみが占めており中身として紙ごみ・シュレッダーごみが多い
タブレットの活用も考えてはいますがコスト面でまだ実行には移せておりません。今年度よりコースが増えたため書類管理するものが増えて保管期間後の廃棄がまた増えることが見込まれます
資料のペーパーレス化及び縮小化を推進してまいります
また 古紙及び段ボールの資源分別は継続して続けてまいります

令和6年は場内の片付けで不要になった骨材を処理しており産廃が増えました
まだ骨材として保管しているものや、今後使用しないものの片付けを今年度も少しずつ進めてまいります

4 水の使用量の削減（節水）

使用量は前年に比べ増加している。原因として感染症予防や臭気対策の徹底のため車両の洗車頻度を増やしたためだと考えられる。
車両によっては1日2回洗車をする車両もあり、金沢市のほうからも収集する廃棄物について資源化するため収集前の洗車の徹底(不純物の混載を防ぐため)をおねがいされている。
使用量の削減は困難ではあるが作業員への「水の出しっぱなし」等による無駄を減らすよう声掛けを行い節水していきたい。
当社では水道水を使用しておらず井戸水をしようとしており資源とはならないですが、無駄をなくすようにいたします。
また、排水については水質検査(BOD検査等)の実施を検討しております

5 リサイクル率

リサイクル率は受託業務先からの排出物のうち資源になるよう分別収集を徹底しております
「分別のお願い」の案内文を配布したり 入居者やテナントさんのある物件では分別しやすいようゴミ置き場の工夫などをお願いしております
また古紙の出し方も段ボールと紙類が混ざらないようになど細かいことまで排出者さんへお願いすることにより純度の高い資源を持込出来ていると思います
但し、リサイクル率は排出物の種類により大きく変動するため目標は現在の50%とし再資源化及び排出量削減を推進してまいります

6 グリーン購入

事務用品については詰替え用の購入やまとめ買いのパッケージレス等を選んで購入を継続して行ってまいります

7 エコアクション21の周知活動

社内会議にて昨年は4回開催いたしました
その際に結果報告及び目標の周知進捗状況等を報告しております
エコドライブについて等の周知もその際に実施しております
またドライブレコーダーを使用した運転技術の確認を行い
気になったポイントは朝礼等にて発表しております（個別ではなく全体へ）

8 苦情の受付状況について

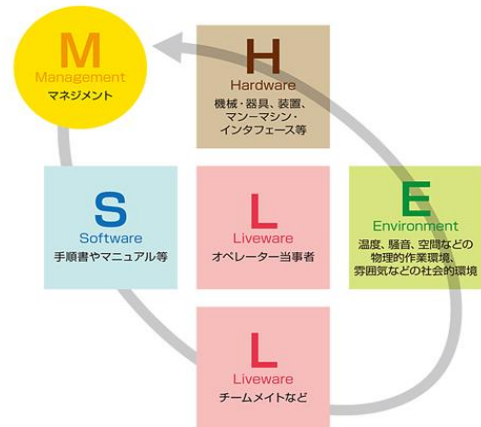
「苦情・相談 受付メモ」を使用し書式を統一することで、過去の報告案件がみられ原因の傾向などを把握することができた

また、これらを用い個別に当事者へ注意を促したり全体へ周知することができました

今回苦情件数が増加した原因としては、前年まではトラブルになった苦情のみをカウントしておりましたが、サービス向上のため問合せのあったものを全て「苦情・相談 受付メモ」で報告しておりそのため件数が大幅に増えました

苦情件数を減らすため、「今後注意をする」だけでなく原因の評価（m-SHELL等）をし現場を見直すような手順の作成をいたします

今後の対策のためにも引続き苦情以外の問合せ等も収集し 全体へ周知してまいります



9 事故件数について

運輸安全マネジメントを実施しており 事故に関しては全て周知しております

今年度の目標も 人身事故ゼロ・物損事故ゼロ・自損事故防止 を掲げて交通ルールを遵守してまいります

プロドライバーとして マナーのある運転をしてまいります

7-3 次年度の取組内容

令和7年度は運行内容の変更のため一部修正して計画を作成いたします

主に土木現場がないため それに代わる実行できる目標を追加する

取組内容は継続して推進してまいります

社員全員で取組をいたします

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

8-1 環境関連法規の遵守状況

適用法令	遵守事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	廃棄物の保管 産業廃棄物の委託 産業廃棄物管理票の報告・保存	○ 遵守
収集運搬を業として行う場合	一般廃棄物の許可・期限の確認 産業廃棄物の許可・種類・期限の確認 車両の表示・携行品の確認 契約・マニフェスト管理	○ 遵守
プラスチック資源循環促進法	プラ製品の①分別②再資源③熱回収	○ 遵守
建設リサイクル法	解体工事の届出、建材の分別解体、再資源	－ 該当なし
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄の排出・収集	○ 遵守
道路交通法	交通規制	○ 遵守
貨物自動車運送事業安全規則	車両点検・点呼の実施・適性診断の実施・車両の運行管理・運送車両の許可	○ 遵守
労働安全衛生法	健康診断 等	○ 遵守
フロン排出抑制法	フロンの漏えい防止・点検・記録	○ 遵守
騒音規制法	対象の確認及び届出	－ 該当なし
振動規制法	工事現場の区域確認 届出	－ 該当なし
浄化槽法	し尿浄化槽維持管理点検 浄化槽 法定検査（定期検査）	○ 遵守

法令更新確認日：令和 7年 6月 20日

※ 詳細は法令遵守状況チェック表参照

遵守チェック日：令和 7年 6月 20日

8-2 法令違反、訴訟等の有無

環境関連法規制の遵守状況について評価した結果、遵守状況は良好であり、法令違反はありませんでした。
また、訴訟もありませんでした。
関係当局よりの違反等の指摘は過去5年間ありませんでした。
環境関連法規に関しては自らが定期的に遵守チェックしています。

9. 代表者による全体評評価と見直しの結果

当社の廃棄物収集及び貨物運送業は、環境負荷軽減に関して重要な問題であり未来を支えるためにエコアクション21を通して活動の見直しをする良い機会になっております。今後も継続して推進をしていきます。

元会長の北川直二はいち早く環境問題に注力し小規模な会社ながら「エコアクション21を勧めることは意味がある」と取り組みを始めました。手探りで始めたエコアクションも系統的に集計ができるようになり順調に活用をしております。その北川直二も今年の4月に亡くなり、跡を任され引き続き志を同じく環境問題へ取り組みをしております。社長を任され4年目を迎えエコアクション21の問題点や改善点が出てきました。土木部の人員の削減に伴い建設現場の業務がなくなり、骨材の運搬やダンプ以外の土木の仕事がほとんどなくなりました。現在は環境部の業務が売上の大半なこともあり、廃棄物収集運搬の拡大を図っていきます。

令和6年度のエコアクションの取り組みは適切でした。負荷チェック表の活用により集計が早くなり比較がとても見やすくなりました。軽油・ガソリンの集計に関しては決済方法を変えることでデータが早く手元に来るようになり集計を翌月中旬頃に掲示し周知できるようになりました。

実績についても苦情・事故を迅速に現場に反映できるよう様式を見やすく工夫していると思います。また今後も更なる効率化が図れればと模索をしていきたいです。

令和7年度は、一部目標と計画に修正を加え推進してまいります。そして令和7年度の数値を基に改めて中期計画を策定し現在の状況に近い状態での邁進をしていきたいと思っております。

今後の業務に関して、環境問題に関係する廃棄物を収集する会社であることを意識し、地元へ貢献できる会社にしていきたいです。そのなかで地元のイベントや各関係協会に参加し地域交流をしてまいります。

社員第一に考え一部事業の縮小にする部門も考えておりますが、できる仕事を広げていければと思っております。

令和7年6月28日

代表取締役社長 北川 邦雄